四月四日 夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價 一部金貳錢 一ヶ[illegible]五拾錢 郵税五厘
廣告料 五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

眞實と虚僞【四】

中村哲彌

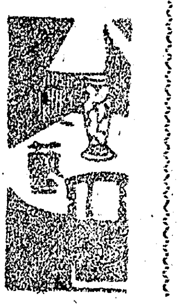
刑罰が怖いために吐かれる嘘は罰の上に罰を加へたり、兒童をして益々恐怖を感せさせるやうな、理由を與へたりすることによつては、除去し得ないことは明々白々である兒童をして、嘘言は無効且つ無力な回避法であることを、よく體認させることが大切であり惡行の結果を眞面に甘受することが、結局、よりよく、且つ滿足す可き結果を齎すものだといふように、感じさせることが必要である恐怖に訴へるよりも兒童の自尊心に訴へることの方が、より健全であり且つ有効である。

吾々は、吾々の事態の取扱方や、語調などによつて兒童に嘘言を吐くやうに仕向けるやうなことが、實に頻繁にあるのである學校に於ては、兒童は自分の正しく信じてゐることではなしに、教師がさせ度がつてゐると兒童の考へるやうな、答をするやうにさせられてゐる事實のあることは、吾々の親しく知つてゐるところである。それと同樣に、學校外に於ても、吾々が若しも適當な取扱をするならば兒童をして露程疑ふことなく眞實を語らせことの出來るものを、彼れを吃驚させたり嚇したりするためについ虚僞の陳述をさせることがあり得るのである。

兒童は亦兒童自身いより高貴だと考へる目的のために故意に嘘言をいふこともある男の子が惡戲を始めた場合に、その内の一人が他の仲間の罪を庇ふために嘘言を吐くことは屢々行はれることである。多くの兒童は斯くして友人を罪に曝け出すよりは、寧ろ罪を一身に負ふてあらゆる刑罰を忍ばうとするのである。敏感な少女になると、愛する者の感情を傷ましめないために罪のない嘘を吐くことを敢て辭せないのである。此の場合彼女に取つて必要なことは、その陳述が正確を缺いてゐる點を總まくりに批難することではなしに、兩者の相對的價値を正しく判斷する力を得るやうに助け導いて貰ふことである。

◈明日の獻立◈

【朝】味噌汁―大根
小付　すゞめやき
【晝】めざし
【晩】燒豆腐　田樂



山の征服

飯村閑舟

霧は深いぞ
おウい　おウい
落ちるな危い
雪どけだ。

寢牛のやうな
山襞に
賴るは一つの
星あかり

迷ふな燃えよ
アスパイヤ
山の征服
まだ遠い

一册の代金で
御希望通りな
五册の雜誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

吉田眼科醫院
平紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

古レコードと蓄音器買入
皆樣の御家庭にて既に御不用となつたものでも何處の店よりも高價に買ひます
平町三丁目
天地堂
電話五八九番

外科 内臟外科
X光線科 院長 安齋徹
―新設―
產婦人科 醫學士 黑澤廣
▽入院隨意△
平町田町
安齋醫院
電四七五

毎度特に御引立に預りまして厚く〳〵御禮申上げます、寒かつた冬も何時の間にか過ぎ去りまして樂しい春が訪れて參りましたもふ櫻も二旬の後に迫つて來ましたすし折 魚折の原料が着到致しました、何卒お花見には多少共御下命の程伏してお願ひ致します。
乍末筆來る春と共に皆樣の御健康と御繁榮をお祈り致します。
平二警察署通り
魚清食堂
電話六三三

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町鍛冶町十八
債券 公社債 現物賣買 擔保貸附
日本商事株式會社平支部

時代の要求―
皆樣の足?
尼子タクシーへも豆タクが入りました
御立關から立關へ 迅速簡便
是非御利用を
市内 三〇錢
市外 四割引
流線型セダン
大型貸切バス
宮行―直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

母シウ儀永らく病氣中の處藥石効なく二日午後六時死去仕候間此段御通知申上候
追而葬送の儀は五日午後二時自宅出棺性源寺に於て執行仕候
昭和十一年四月四日
平町紺屋町(土橋)
男 原精一
親戚總代 森本盛一

平町の玄關口鋪裝

鐵道側の豫算が纒つて

愈よ五六月頃から着工

平驛前廣場の鋪裝は再三話題に上つてゐたが鐵道側の豫算の關係上實現されず同町主要道路が既に近代的な鋪裝美を誇つてゐるに對し外來者にも奇異な感をもつて見られてゐたが最近になつて愈々鐵道側が十一年度の豫算に計上來る五六月頃着工することにほゞ決定したこの驛前廣場の鋪裝完成の曉はより以上大平町の玄關口に美を添へる譯で一般から實現の早きを希望されてゐる

平局定期昇級

平郵便局員の判任官五名、雇員傭人四十名の定期昇級及び年功加俸辭令は本四日佐藤局長より夫々手交されいづれもニコ〳〵顔で朗かな光景である

失職工で

平紹介所が

眼を廻す忙しさ

男工の仕末は頗る致難

既報大火で鹹首の厄に遭つた錦村人絹會社の男女工約二千餘名は卅一日夜から昨三日にかけて夫々歸鄕の途に就いたがこの解雇に依つて平職業紹介所に求職方を願ひ出たものが男約五百名女二百名の七百名で同紹介所ではこれら大量の求職者の就職振り宛に必死の活動を續けてゐるが女工は大體就職振宛が決定するものと樂觀されてゐるに反し男工約七百名の斡旋は相當困難の狀態にあり同紹介所で●縣內並に足利、東京、茨城岩手各方面に聯絡斡旋に努めてゐるが女工と違つて就職希望等も統一を缺いて居り今月一杯には全部の解決は困難と見られてゐる

教育記念

式典の盛況

雨を衝いて六百名

郡下小學校敎員の敎育記念式は三日午前十時より平第一校講堂に擧げられ篠山會長の開辭國歌合唱敎育に關する勅語並に小學校敎員に賜りたる勅語捧讀部文大臣訓示及び宣言決議文朗讀宮城遙拜の順序で進められ全國小學校敎員聯合會長上沼久之丞氏の祝辭に次ぎ講師元官立東京盲學校長秋葉馬治氏の眞實敎育と題する講演あつて萬歲三唱午後三時閉式したが雨を衝いて參集の敎員約六百名あり盛會を呈した

漁港と水道

實現の喜び

江名の祝賀會

【既報】江名町では二十日午前十時から中之作築港で漁港落成式を擧行の後上水道竣功式を行ひ終つて盛大な祝賀を開催することになつたが當日は知事始め千餘の來賓を迎へるため江名町役場では豫算千五百圓餘を計上、目下準備中

同水道は十三萬四千圓の工費をかけて竣工、給水戶數五千戶、同町大字江名並に大字永崎にまで給水中之作漁港は總工費二十二萬五千圓で昭和七年以來三ケ年計畫で着工、過般竣功したものでこれが改修並擴張に依り同港の廻船數は激增を見て居り今後の發展を期待されてゐる

青年學校補助

渡邊上遠野、錦、大浦、小川村の青年學校は今回學校の向上と振興を計るため作業室溫室敎練用具を設備したので近く縣から二百圓宛の補助を交付されると。

災害縣工事

何れも完成

平土木監督所管內第一次第二次災害縣工事は去月卅一日全部終了した第一次工事は總工費四萬三千圓道路五ケ所で昨年七月着工第二次工事は二月半から工費四千圓で(道路二橋梁二)着工したものである

尙町村工事は第一次工費四萬八千五百圓二十二ケ町村第二次は工費一萬三千圓で六ケ町村に行はれたもので何れも卅一日をもつて竣功した

一青年が獨力で

柿の加工法研究

縣から助成金交附

磐崎村青年團員瀧彌二平君は昨年中農村更生の一端にと獨力で柿の加工法を研究し優秀な成績を擧げたので今回縣から金十圓の助成金を交付されることになつた

馬の値が

昨年より安い

中寺の春馬市

澤渡村中寺の春駒糶賣市は卅日から四日間に亘つて遠く埼玉茨城方面からも參加して行はれたが出陳馬總數二百八十九頭で最高三百圓最低二十圓平均七十圓であるが昨年と比較して安値で昨年は最高五百圓最低六十五圓であつた尙出陳馬中左記優良馬所有者に對して昨三日午前十時表彰を行つた

◇牡馬一等濱渡村市萱加藤甚一 二等同村上市萱加藤彥左エ門 三等加藤酉之助 ◇牝馬一等三坂村內藤助元 二等志賀亮助 三等佐藤房治

原氏母堂逝く

平町土橋通り歯科醫原精一氏の母堂シウ刀自は病氣中の處遂に二日午後六時長逝された葬儀は明五日午後二時自宅出棺の筈享年八十四の長命で●るが原歯科醫は日頃孝養の深かつただけに非常に悲嘆に暮れて居る

平町人事

回出生

△小名濱町本町五三當時大町四高橋義氏三女惠子さん

△鎌田町五二當時東白川郡竹貫村大字竹貫字竹貫一三四高橋寅治氏二男平治

△長橋町三〇當時東京市淺草區榮久村七八館林喜內氏二女祐子

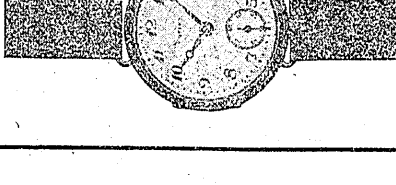
回死亡

△材木町十二 前島ハマさん(五五)

印刷の御用命は…

常磐毎日印刷株式會社

嬉ばしき御卒業と
上級學校御入學の
御祝は是非!
最も正確な常盤屋の時計を
四月一日 — 十五日迄
お買上の時計にお祝として保險付
高級十四金ペン付
ロンドン万年筆送呈
クローム側 精工舍 10形腕時計 7.50ヨリ
クローム側 セイコー 女學生用腕時計 8.00ヨリ



常盤屋時計店
平町一丁目 電三三九

▽是非!
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます

●三井質店
平・四 電六〇六番

進行中の列車から
少年賊逃亡
消防組が山狩り
山傳へに實姉の家に潜伏

【既報】平署が窃盗犯人として茨城縣松原署に手配逮捕した内郷村大字高坂字中町農甚吉二男鈴木一夫(一九)の身柄引取の爲め二日朝同署室井刑事が出張同日四時四十三分の下り列車で

護送の 途中列車が泉村本谷トンネル附近を進行中犯人は突然、護送刑事の隙を覗つて開放された乘降口から手錠のまゝ飛び降りて逃走、同刑事も續えて飛び降りたが兩足に傷を負つたに屈せず田圃を横切つて逃げる犯人を追跡中

山林に 逃げ込まれて途に姿を見失ひ附近の植田署に急報すると同時に平署にも急報、兩署は直に署員を動員、宵闇せまる頃から附近山林一帶に渡つて捜査を開始したが犯人は夜に入つて山深く逃げ込んだらしく

同所は 廣大な山續きのため泉消防組員も出動山狩を行つたが三日午前十一時頃平署外勤渡邊巡査が犯人の實家附近を張込中、同村大字高坂居住の實姉佐久間キヨ方に潜伏し居るを探知踏ん込むで難なく逮捕平署に引致、直ちに留置した

學校專門に荒し廻つた
第二校學藝會の窃盗も同人らし

逃走犯人内郷村大字高坂鈴木一夫(一九)は生來の不良兒で昨年六月盛岡市の少年刑務所に二ケ年の刑を終へて出所後實家に歸つたが仕事もせずぶら〳〵して居るうち自轉車を盗んで賣却費消したのに味を占め今度は炭礦方面を根城にコソ泥を働へた外宮内郷湯本平の各小學校を荒し廻り平署で捜査中だつたもので過般の平第二校學藝會の窃盗も同人の仕業らしく嚴重追究中

電話を抽籤
申込が頗る増加

平郵便局は去る一日より十五日迄本年度電話特設の申請を受付けて居るが既記の如く本年は特設料登記料を合せて昨年より六十五圓安くなつた爲昨年の十二名申請に對し今年は本日迄の四日間既に二十名の申請があり尙今後も増加する模様なので最後の抽籤決定が非常に注目されて居る

湯本驛竣工
盛大な祝賀會

既報湯本驛舍の改築は工費二萬圓で去る一月より着工中の處最近九分通りの工事を了へ來る六日頃迄に二階建のモダン驛が竣功するので協賛會を組織した同町と合同して十五日午前十時から盛大な竣功祝賀式を擧行すると

事故防止委員 既報平驛員の異動に依り同驛事故防止委員會は左の如く改選した

(幹事)山崎花郎(委員)平

竹内孝　小川酒井浩　平機關庫尾崎彦太郎　坂本重長　遠藤重治　木村忠衛　赤坂兵助

明日のラヂオ
五日　仙台放送局

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間(大阪)幼兒のための昔噺「花咲爺」井上義孝その他
▼後六、二五 講演「工學と工業の今昔」工學博士眞野文二
▼後七、三〇 講談「乃木將軍傳妻返しの松」挑川若燕
▼後八、〇〇 小唄　堀小奈美　小三喜
▼後八、一〇 ヴァイオリンと管絃樂「通俗名曲定期演奏」ヴァイオリン獨奏ウィリ・フライ
▼後九、〇〇 時事解説「經濟統制に就いて」商學博士武田鼎一
▼後九、三〇 時報　放送局ニュース　明日の話題

明日の部

▼前七、一〇 小鳥の啼聲「目白、うづら、あかひげ、駒鳥その他」鹿兒島より
▼前九、三〇 少年音樂講座「管絃樂」山田耕作、アルメリア管絃樂團
▼前一〇、〇〇 日曜勤行(藤澤遊行寺より中繼)
▼前一〇、四〇 講演「東北切支丹史事蹟」菅野義之助
▼前一一、一〇 講演「東北地方に特有な化石に就て」曾根弘
▼後〇、五〇 滿洲より趣味講演「滿洲の佛教と滿人の信仰に就て」植田貢太郎(新京)
▼後一、二五 舞臺劇　世話狂言の研究「宿無團七時雨傘」中村竹三郎その他
▼後二、一〇 全國中等學校選拔野球大會實況(甲子園球場より)
▼後六、〇〇 子供の時間　童話劇「小學一年生」若草こども會
▼後八、〇〇 日曜特輯ニュース演藝　花めぐり第一日　土佐の花便り「得月樓中店」「咲彌他(高知)阿波の花便り「眉山の櫻」
▼後八、二五 長唄「熊野」吉住小三郎
▼後八、五〇 歌謠曲　各社專屬レコード歌手

天氣豫報

晩は南の風晴
薄く
明は南の風薄
曇り

交換手試験
平第三講堂で行ふ

既報平郵便局の電話交換手採用試驗は明五日午前九時から行はれるが本年は十名の採用者に九十二名の志願者が殺倒してゐるので試驗場を平第三小學校講堂に當てると

中等學校始業 平町各中等學校の始業式及び入學式は今四日午前十時より夫々擧式され何れの學校も新入生の明るい顏が眼を引いた

四ツ竹でカチ〳〵
その實は盗みが本業
懲役一年言渡

宮城縣刈田郡白不町番町七六生れ住居不定無職前科四犯菊地勝枝(二八)に係る窃盗事件公判今四日午前十時より平區野木判事係り氏家檢事立會で開廷され求列通り懲役一年を言渡された

同人は四ツ竹遊藝をしながら昨年九月頃より郡内に流れ込み家人の不在を窺ひ夏井村渡邊彌左太方より金十圓五十錢と袷一枚箕輪村小幾克己方より白米一斗赤井村鎌倉隆藏方より腕時計と白米三升飯野村平室旭方より白米一斗其他を荒し廻つたものである

自轉車を傍らに
身許不明の屍体

磐崎村小野田炭礦病院附近の山林に二日午前九時頃四十三四才の溢屍体あり平署で檢視したが懷中に岩瀬郡牧本村森藥局の領收書用紙十數枚と須賀川六〇〇七番の自轉車を持てゐる丈けで身元不明のため目下各所に照會中

新日本唱歌
講習會開く

唱歌教育研究會石城支部並に石城教育部會は來る十一日より二日間平第一小學校講堂で新日本唱歌講習會を開くが講師は元新潟師範敎諭新日本唱歌編纂係林松喜氏で歌曲練習伴奏の取扱方發聲講話等あり閉會後唱歌敎育に關する座談會を催すと

平裁判たより

△双葉郡大野村大字野上字廣各地五〇生れ前科三犯ゴム靴修繕工津島子之吉(四九)は昭和九年三月より十年十二月頃迄前後十六回に亘り双葉郡大野村野上菅野ナツ外十五名齒治療醫及金齒入を行つた事發覺今四日平區より齒び齒師法違反で略式罰金二百圓に處された

續る瓦解の人々

悟道軒圓玉(作)　丸尾至陽(畫)

八八　袖口から捕繩

快い心地に寢てゐた文太郎は枕がはづれたのでフトと目をさましました、すると行燈のもとに宙腰になつて此方を見てゐる男に

男『夢はさめたか、オイ客人目が覺めたか』

といはれて

文『ヘエー、お前は何んだことわりなしにこの部屋に入つて來て、汝は何んだ』

男『俺か、俺はかういふものだ』

袖口からズルリとすべり出したは捕繩、文太郎これを見ると飛び起きて

文『親分でございますか』

男『俺の正体が判つたか』

文『ヘエー判りましてございます、わつちは提下にをります鬮太といふものでございます、ヘエ堤にいつも巣をくつてをります』

男『提に巣をくつてゐるとかう見たところでは人間のやうだがそれともばつたの生靈か』

なぞといふ、まことに愛嬌がない

文『エヘヘ、バツタではございません、鴛昇でございます』

男『腕を見せろ、その左腕を見せろ』

文『エ、何ういふわけで腕を御覧になりますね、お目に入れるやうな奇麗な腕ではございませんが』

男『腕を見せればそれでいゝんだ』

文『それでは御覧下さいまし』

と腕を出したが何んで腕を見るか、これは入墨があると有無をいはせず引き立てゝ一應取調べる、入墨と申すも刺青とはことなり幕府時代は犯罪者であつたといふそのしるしに左の二の腕に墨を入れた、これをいれずみといふ。江戸時代には慘酷なことをしたものでもうこのいれづみがあると悪事をしたもののこれが看板になる、所によつてことなりをるが會津では額に入れたさうです、顔に墨が入つては困る一目して前科者なることが判る。

かういふ遊女屋所では折々下級の貸座敷に岡つ引が出張して客を調べたものです、文太郎はずいズイと腕を前へつき出して

文『わつちは鴛昇ではございますが惡いことはいたしません、御覧の通り腕はきれいでございます』

男『奇麗でもなからう、おかめの面が彫つてあるな』

文『これはい●らにいたしましたことでございます、ヘエーいれづみなどはございませんや』

男『兎も角も會所まで一緒に行け、少し聞きゝてえことがある』

文『そいつは困るな、わつちは正直者でございまして』

男『そんなことを聞くために出張したものではねい會所へ行つて一應旦那のおしらべをうけろ、逃げると縛り上げるぞ』

文『驚いたな、イエ行かねえとはいひませんがね馬鹿なことだ、錢を出して遊んでゐて面白い夢を見てゐるところを起されて會所まで引立てられるとは』

男『行かねいか、いやだといへば縛るぞ』

文『行きますよ、オイ女は何うしたい、瀧川は何うした』

と呼ぶと上草履の音が聞いたが間もなくそれへ入つて來たは相方の瀧川

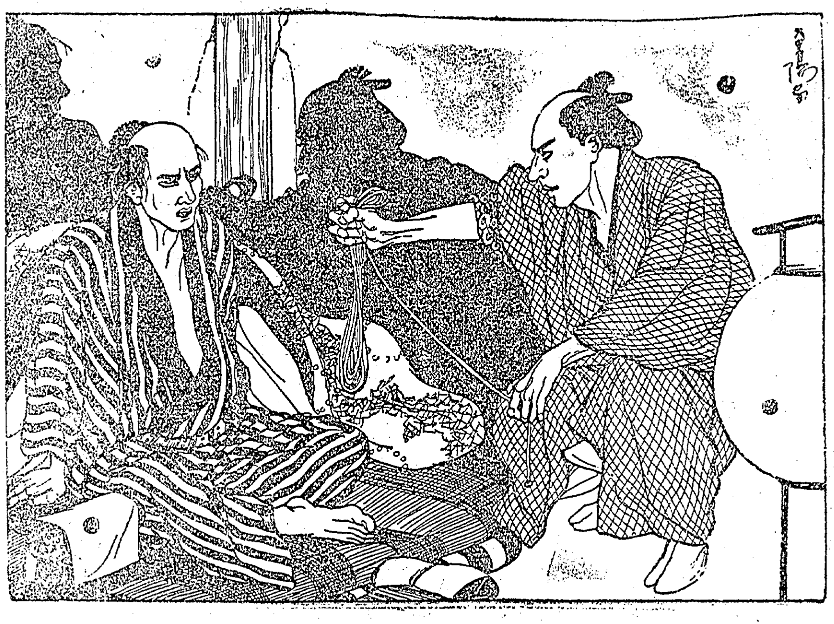
瀧『親分御苦勞様、オヤさう、文太さんを會所へつれてゆくの、この人が惡いことをしたの、イエねわたしもおかしいと思つてゐましたよ、何時も玉だけで遊ぶ人がね藝妓等を上げて舌の物に玉子燒がついたから氣味の惡いことをすると思つてゐましたがねえ、文太さんさうぢやアないか』

文『何をいよアがるたまには俺だとて玉子燒ぐらいは口にする、不人情な女だな客がつかまつて行くのがうれしいか、ヘエ親分御一緒に參りませう、ヤイ……覺いてゐろ』

瀧『音羽屋――』

文『こんな圖々しい奴はなからう』

文太は愚痴をこぼしながら會所へ行く



内科　小兒科　花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町　電話五〇七番

外科　花柳病科　專門

木村外科醫院

電話三〇九番

自炊入院の便あり

平町六丁目橋際

夜間診療

胃腸　性病

内科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科

專門

胃腸性病　松村醫院

(平町南町一〇七番)

磐城セメント會社特約店

(久)金屋商店

磐城平町五丁目　電話九、九九

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷は(久)の生命なり

1936

御入學・御進學

美事な　ファイン・プレー

をなされた御愛兒様へ!!

小店にては聊か右御祝と日頃の御愛顧に酬ゆる爲左記の通り奉仕特賣致します。記念として何卒御用命の程伏して御願ひ申上ます。

旅行と實用とを兼ねた

責任保證附　腕時計

定價　金七圓五十錢ヨリ

(ゴム又は皮バンド附)

萬年筆

定價　八十錢ヨリ

ビクター・コロンビア

ポリドール

特約店　金光堂時計店

平町五丁目